

32

4

東京市職業紹介所第九回年報

(大正八年度)



始





3.

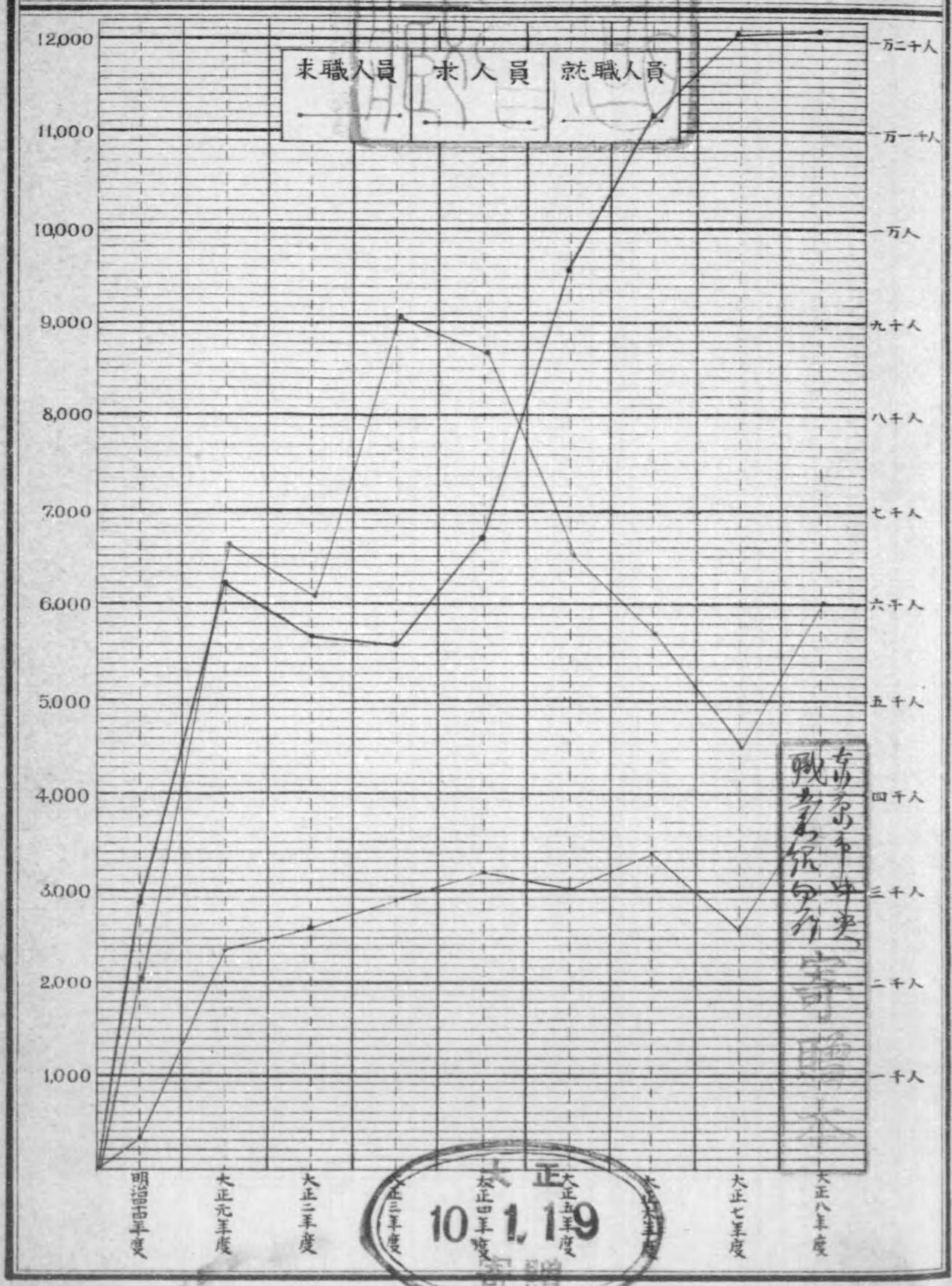
東京市職業紹介所第九回年報

(大正八年度)



326-49

# 東京市職業紹介所事業成績 (一)

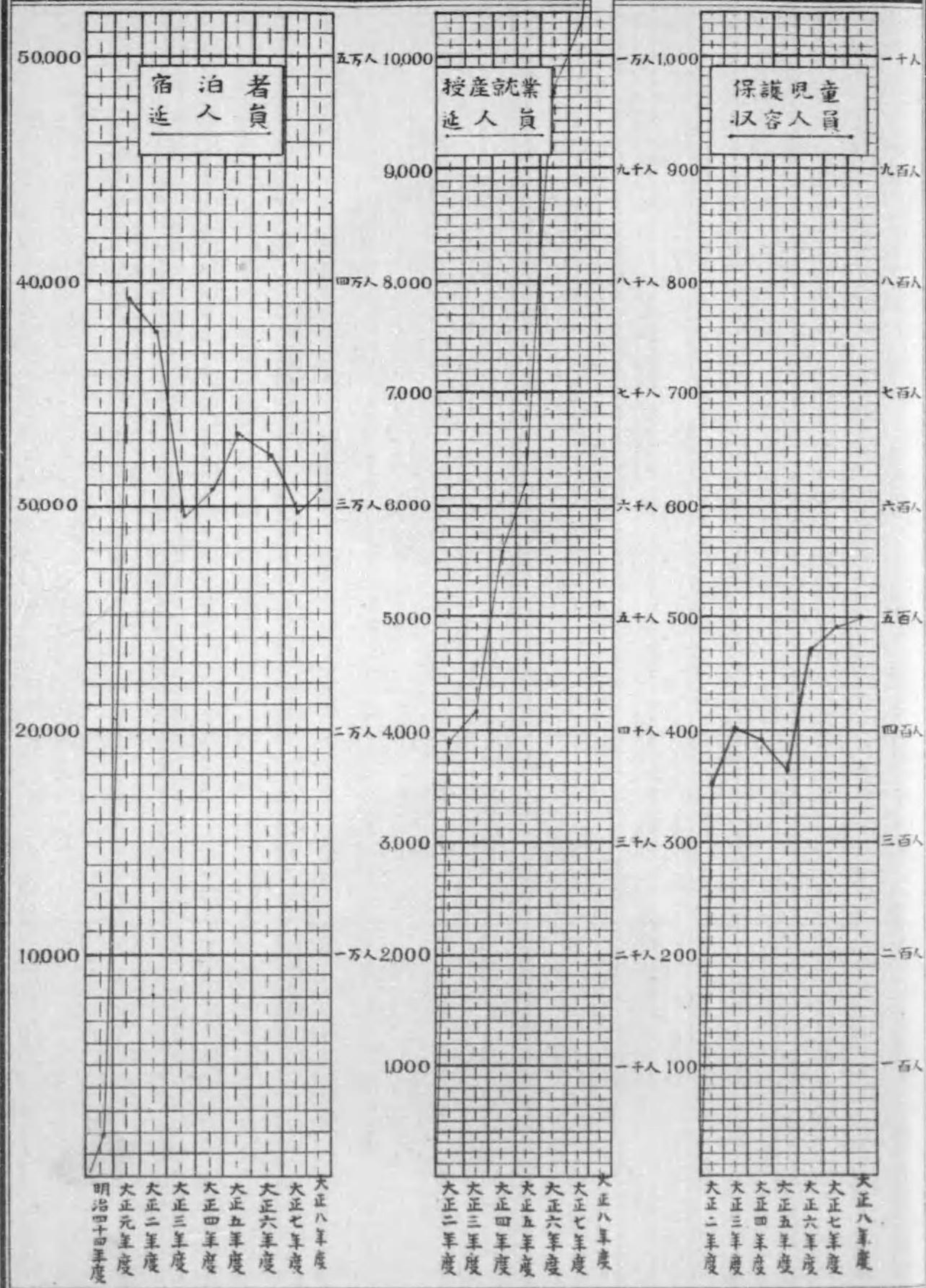


東京市職業紹介所

大正 11.19

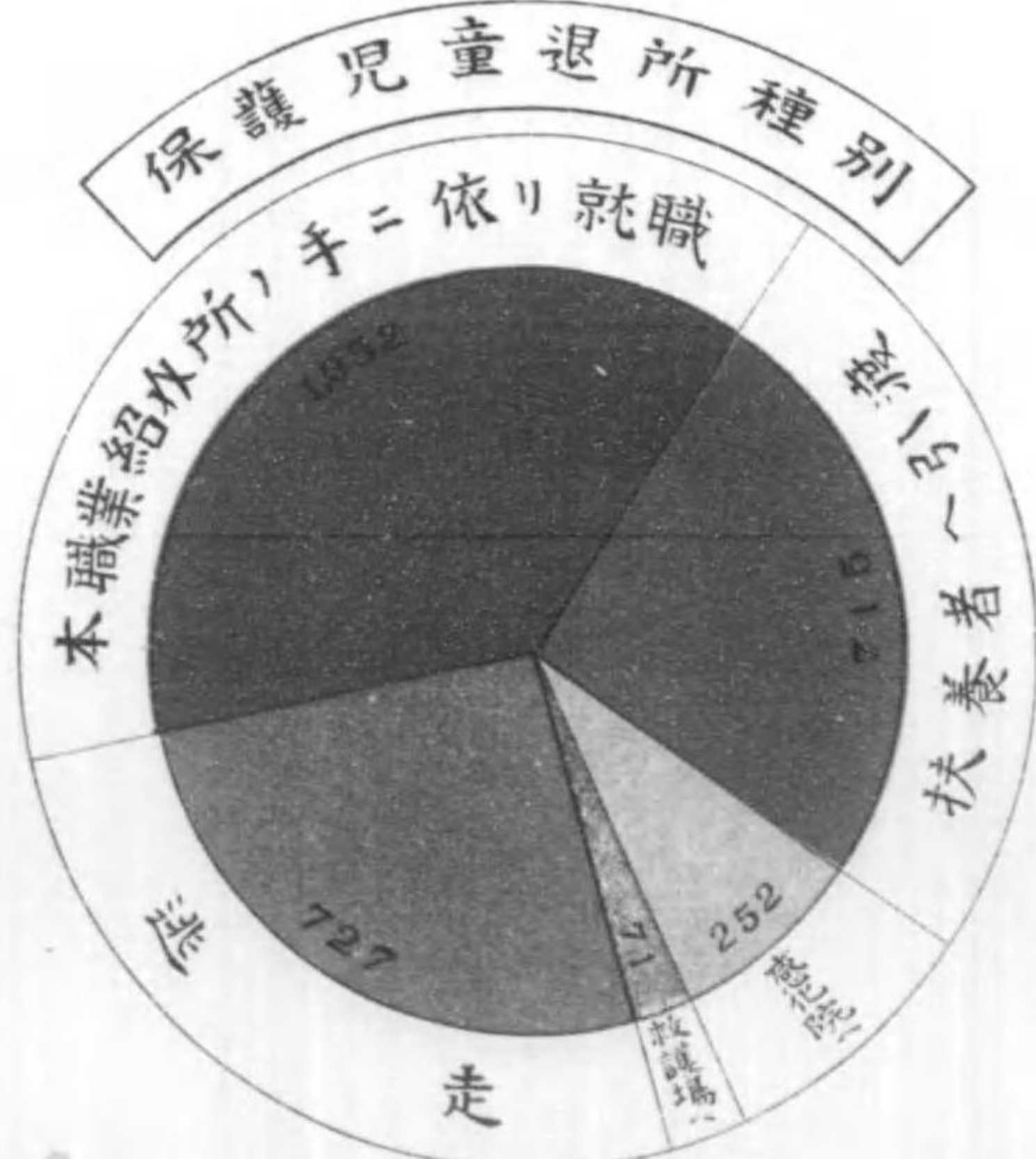
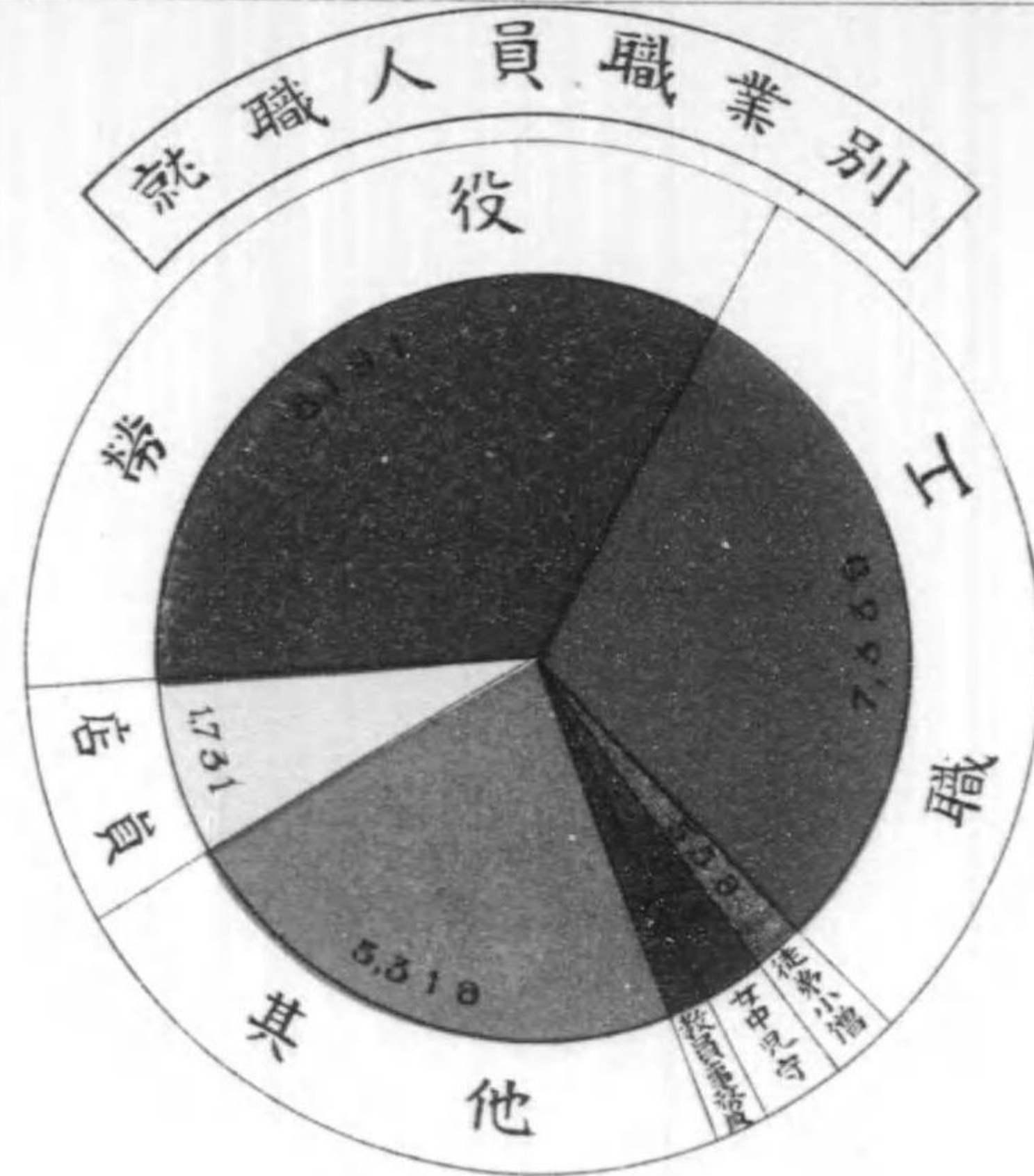


# 東京市職業紹介所事業成績 (二)



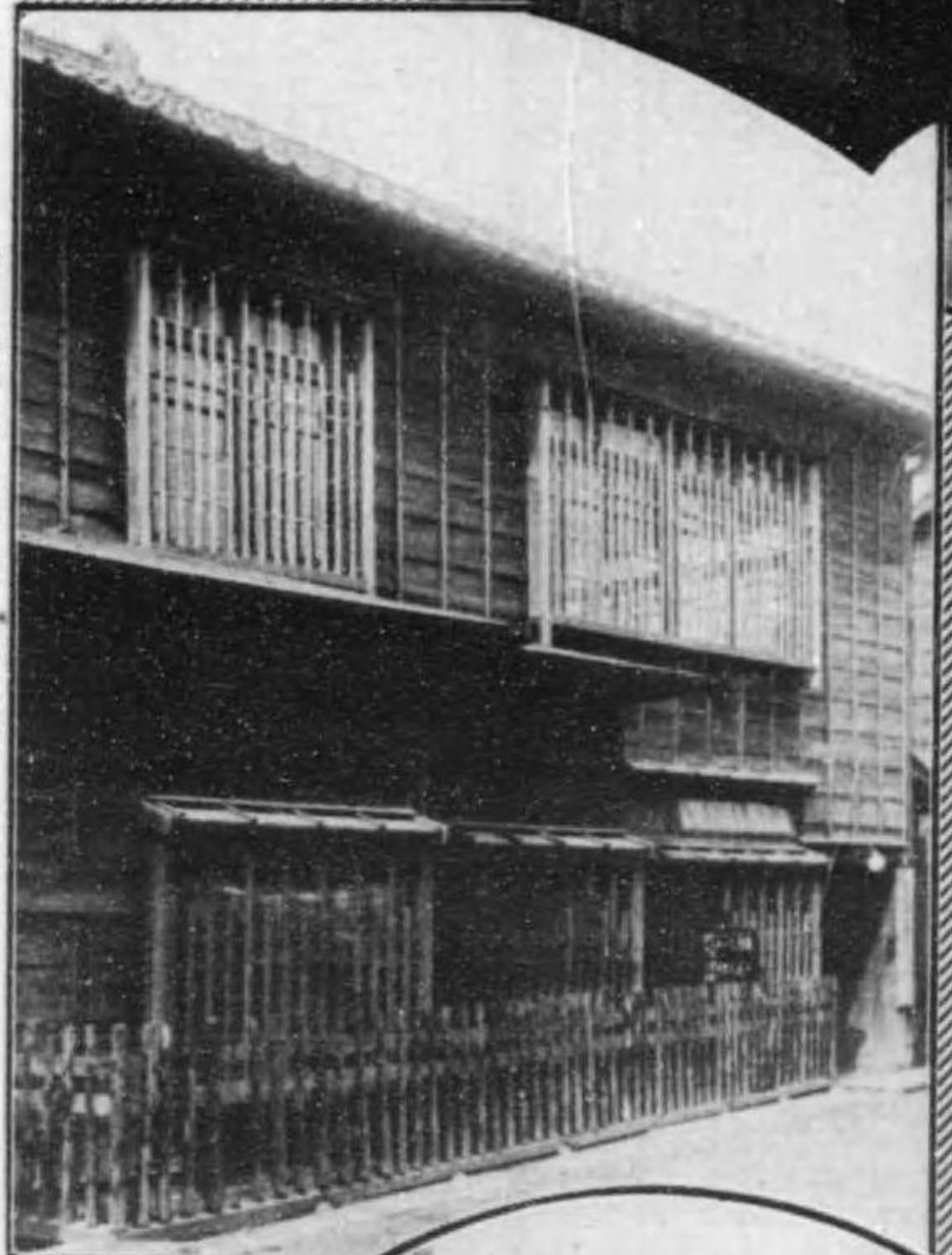


東京市職業紹介所事業成績 (三)





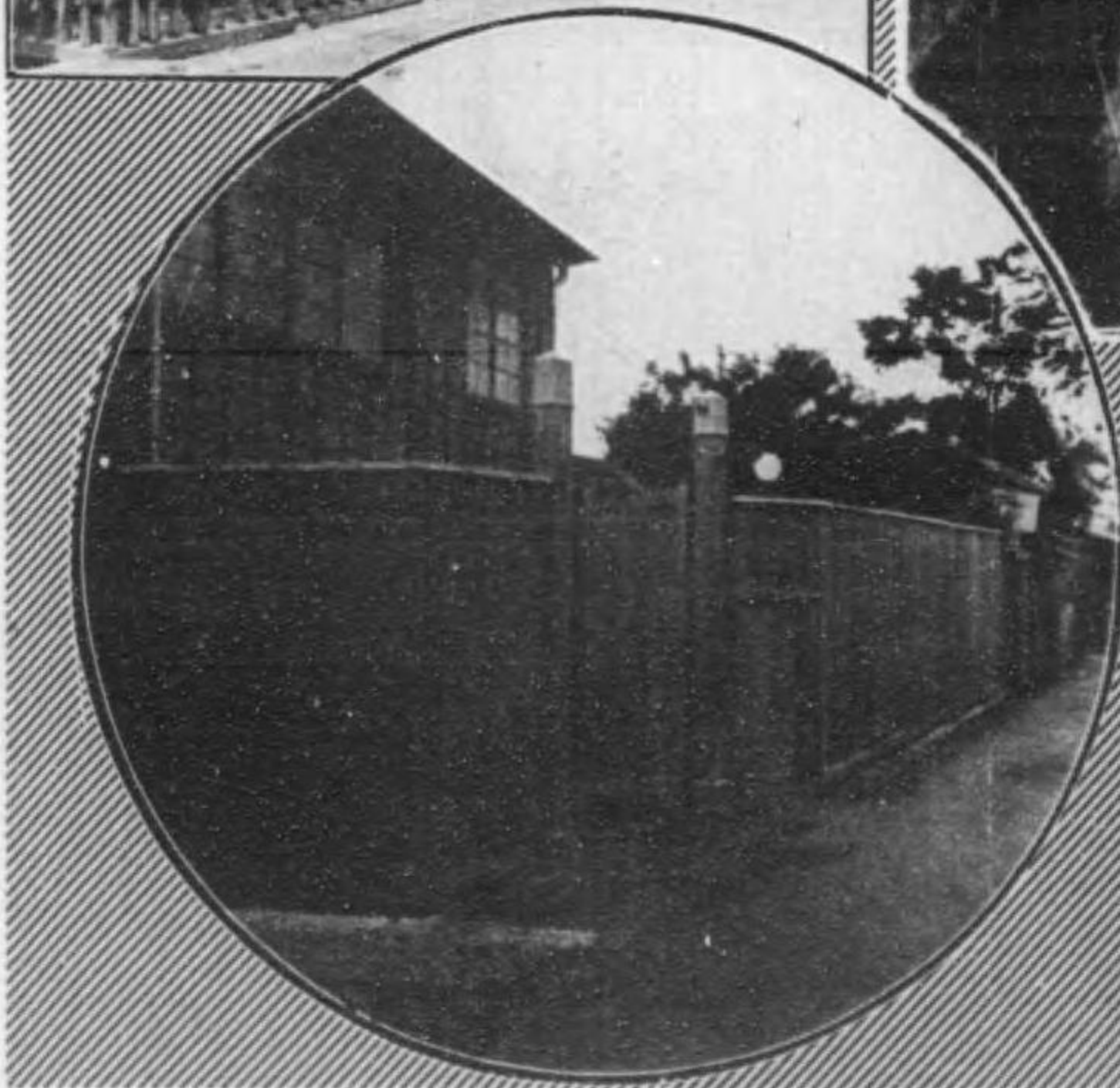
(所介紹業職芝市京東)



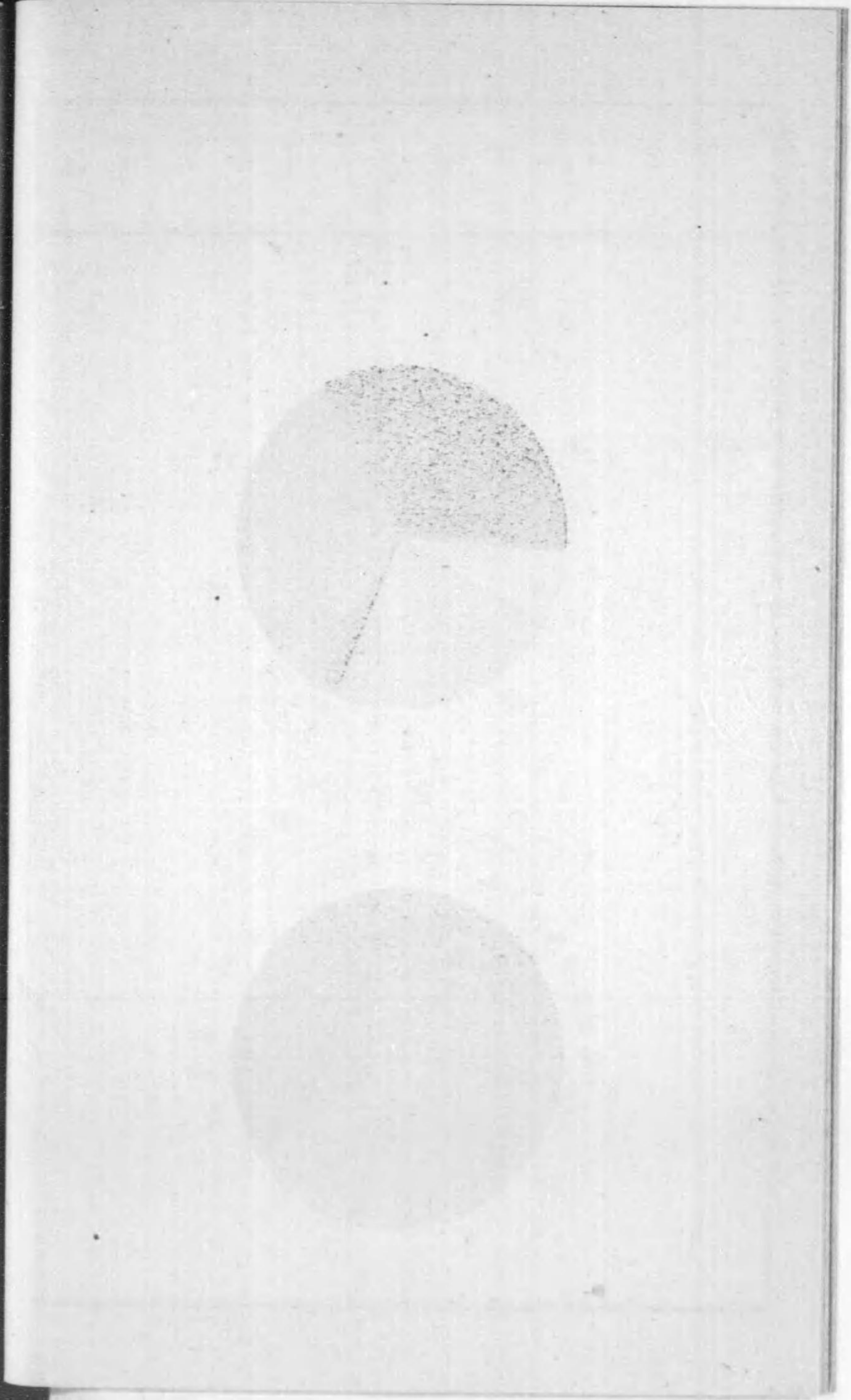
(東京市浅草職業紹介所)



(宿泊室)

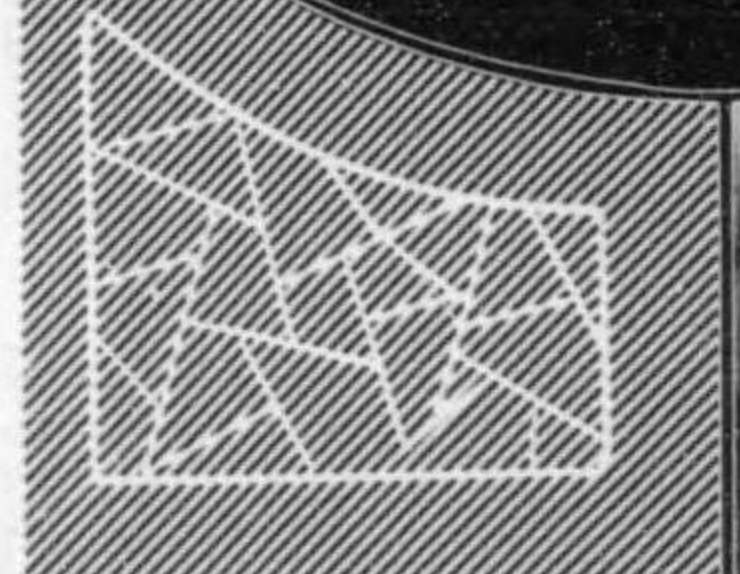
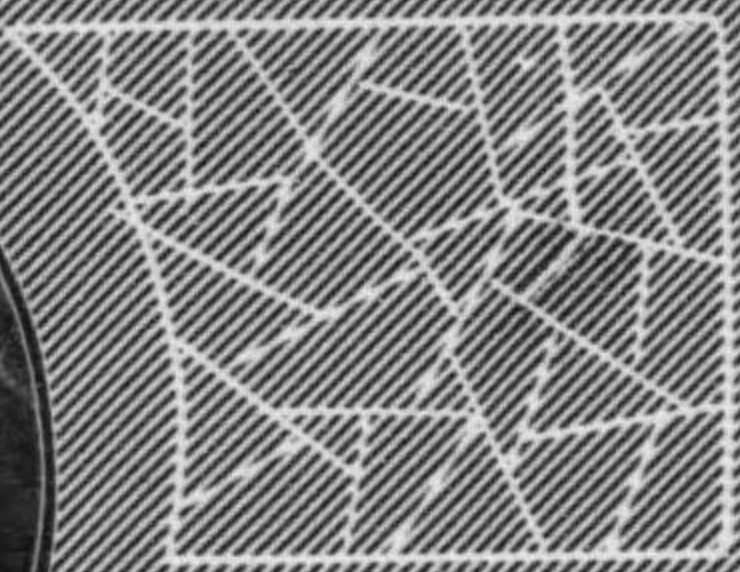
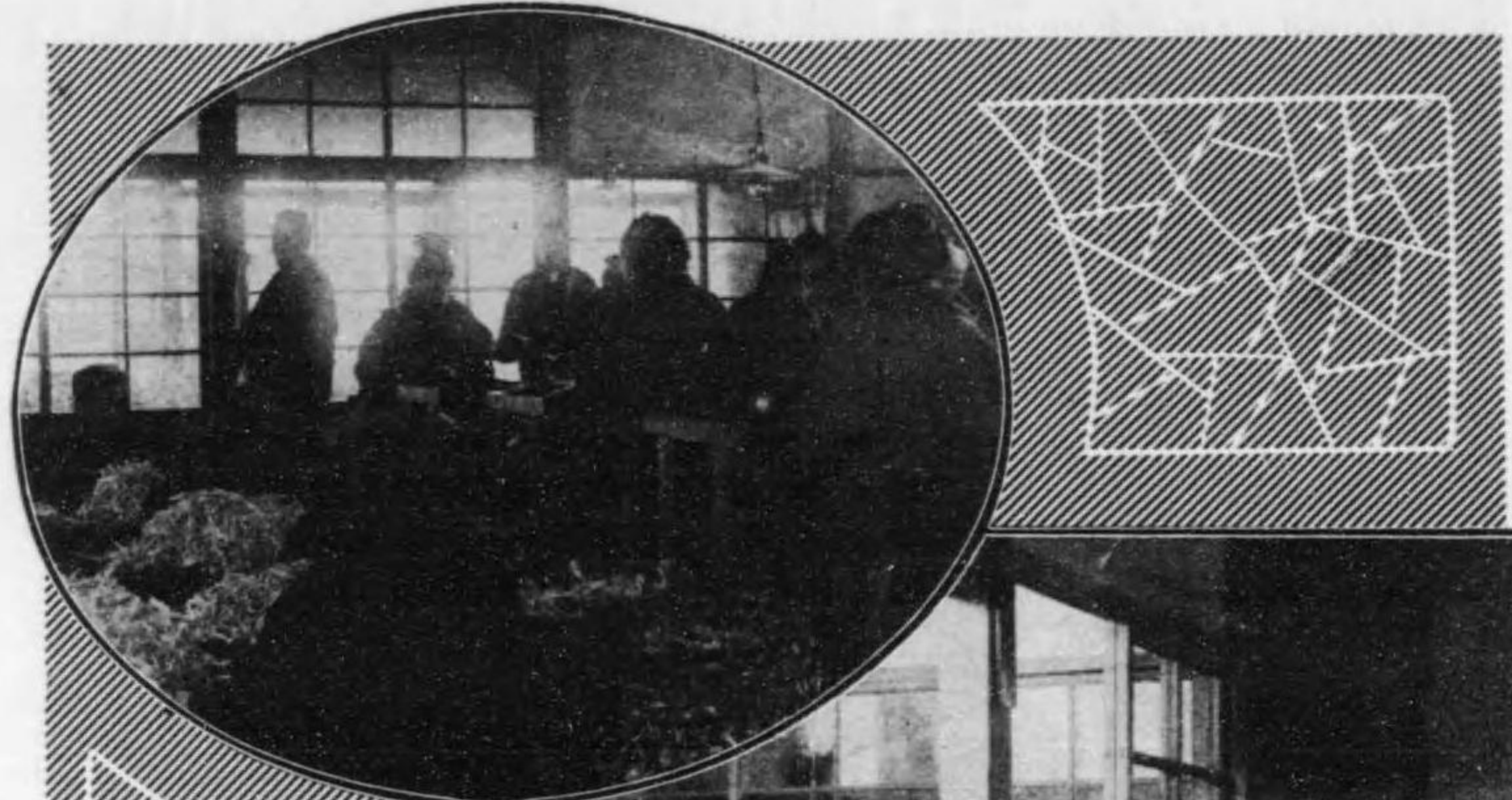


(所介紹業職川石小市京東)

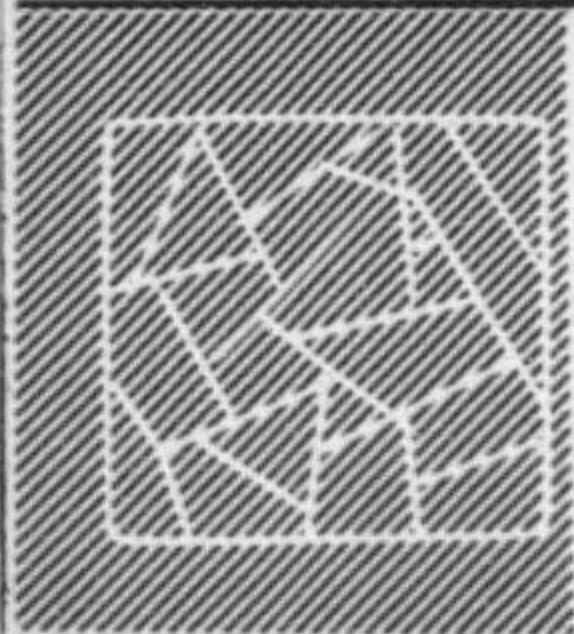




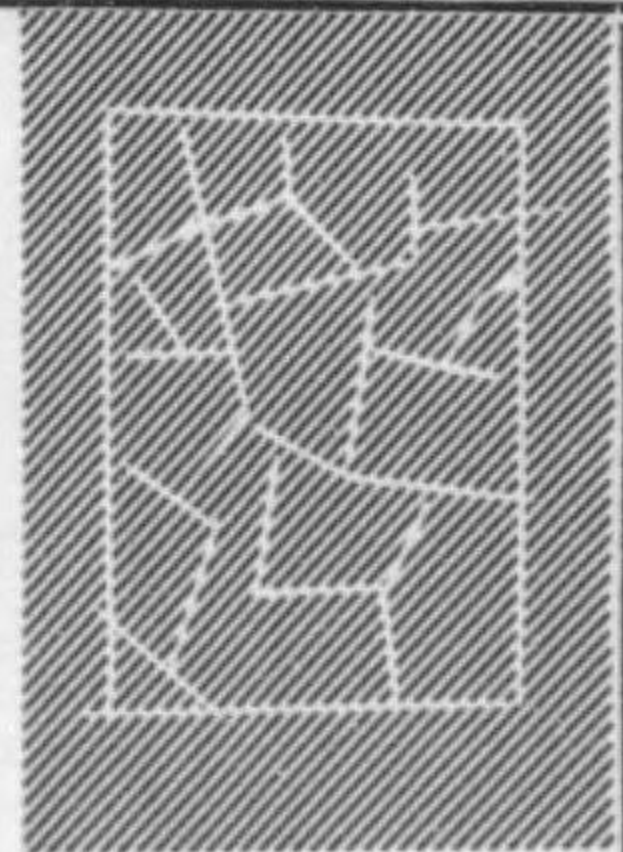
(場 産 授)



(求職者受附状況)



(授産製品)



(童 兒 護 保)



目次

第一章 沿革并組織.....	一
第一、沿革.....	一
第二、所在地.....	一
第三、諸規程.....	二
一、庶務規程.....	二
二、職業紹介規程.....	三
三、事務取扱手續.....	四
四、求職者心得.....	六
五、宿泊者心得.....	六
六、兒童保護所事業要領.....	八
第四、經費.....	一〇
第五、財產.....	一三



第六、所 員	二四
第二章 大正八年度事業概況	二四
第一、庶務概要	一四
一、月別事務取扱數	二〇
二、開設當初ヨリ大正八年度末ニ至ル月別成績統計表	二一
第二、求職者	二五
一、求職者出生地別ト在京年數	二六
二、就職希望業務ト年齢	三〇
三、就職希望業務ト教育程度	三二
第三、就職者	三四
一、希望業務ト就職業務	三五
二、就職業務ト年齢	四三
第四、求人者	四六
一、需要業務ト求人者住所	四六

二、需要業務ト使用人支給賃金	四九
第五、宿泊者	五一
一、宿泊者職業ト年齢	五一
第六、児童保護	五三
一、自大正二年度 至大正八年度 七ケ年間ニ於ケル児童保護成績表	五四
二、月別收容人員	五五
三、保護児童ノ出生地別	五六
四、保護児童ノ送致者ト悪化ノ狀況	五七
五、保護児童收容當時ノ年齢ト教育程度	六〇
六、保護児童浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間	六一
七、保護児童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因	六三
八、保護児童扶養義務者ノ職業ト浮浪原因	六四
九、保護終了事由ト收容期間	六五
一〇、保護費並ニ辨償金額	六七



第七、授 産……………六八

一、月別授産成績……………六八

第八、慰安及訓戒……………六九

以 上……………

附 録

職業紹介所ニ關スル新諸規程……………一—四

東京市職業紹介所第九回年報

第一章 沿革並組織

第一、沿 革



本職業紹介所ハ社會的救濟事業ノ一機關トシテ明治四十四年十一月初メテ淺草、芝ノ兩區ニ各一ヶ所翌四十五年三月小石川區ニ一ヶ所開設セラレ専ラ失業者及無業者ノ爲メニ職業ノ紹介ヲ行ヒ兼ネテ勞働者宿泊ノ事業ニ從業ス而シテ尙ホ大正三年九月更ニ神田區ニ一ヶ所ヲ増設シ着々事業發展シタリシモ經費削減ノ結果大正七年三月末日限リ同所ヲ閉鎖スルノ已ムナキニ至レリ大正二年度ヨリハ附帶事業トシテ失業者ノ應急的救濟ヲ目的トスル簡易ナル授産場ヲ淺草職業紹介所内ニ又市内ヲ浮浪スル少年男女ヲ保護スル目的ヲ以テ兒童保護所ヲ小石川職業紹介所内ニ併置セリ但シ保護所ハ大正四年七月事務ノ都合上淺草職業紹介所内ニ移セシモ大正六年度以降東京府ヨリ補助金ヲ受クル事トナリ從テ規模擴張ノ必要上大正六年七月再ビ小石川職業紹介所ニ移セリ

第二、所在地



東京市淺草職業紹介所

淺草區玉姬町一二六

(電話淺草七五〇)

東京市芝職業紹介所

芝區新堀町三〇

(電話芝一、一六〇)

東京市小石川職業紹介所

小石川區大塚坂下町二〇二

(電話小石川二一七)

### 第三、諸規程

#### 一、處務規程

(大正九年十月東京市中央職業紹介所設置セラル  
ト共ニ本諸規程ハ附録ノ如ク改正セラレタリ)

- 第一條 職業紹介所ハ養育院長ノ管理ニ屬シ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市内居住ノ失業者及無業者ニ業務ヲ紹介シ兼ネテ宿泊ノ事ヲ經營ス
- 第二條 職業紹介所ニ主幹一名及事務員若干名ヲ置ク
- 第三條 主幹ハ主事又ハ事務員ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四條 主幹ハ養育院長ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所員ヲ指揮ス
- 第五條 事務員ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス



第六條 養育院長ハ市長ノ認可ヲ受ケ事務執行ニ關スル必要ノ規程ヲ設クルコトヲ得

#### 二、職業紹介規程

- 第一條 本所ハ東京市内ニ居住スル失業者及無業者ニ無手数料ヲ以テ職業ヲ紹介ス其業務ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二條 本所ノ附設宿泊所ハ料金ヲ徴シテ境遇困難ナル者ニ宿泊ヲ爲サシム
- 第三條 業務ノ紹介ヲ求ムルモノハ其申込ヲ爲シ求職票ノ登記ヲ受クベシ
- 第四條 登録ヲ受ケタル求職者來所ノ際ハ登録證ヲ携帯スベシ
- 第五條 登録證ヲ失ヒタル者ハ其旨届出テ更ニ交付ヲ受クベシ
- 第六條 求職者本所ノ紹介ニ依ラズシテ就職シタル時若クハ求職申込條件ニ變更ヲ生ジタルトキハ其旨直ニ届出ツベシ
- 第七條 求職者ハ求職者心得ヲ遵守スベシ之ニ違反スルトキハ紹介ヲ拒絶シ既ニ登録ヲ受ケタルモノハ其登録ヲ抹消ス
- 第八條 求職者ニ對スル業務ノ紹介ハ登録ノ前後ニ依ル但事情切迫者ハ特ニ優先セシムルコトアルベシ



第九條 本所ハ求職者ノ身元保證ヲ爲サズ

第十條 使用人需要者ハ書面又ハ口頭若クハ電話ヲ以テ需要ノ申込ヲ爲スコトヲ得其紹介ハ無手数料トス

第十一條 使用人需要者ハ市内居住者タルヲ要セズ

第十二條 使用人需要者ハ本所ノ紹介ニ依ラズシテ使用人ヲ雇入レタルトキ若クハ需要申込ノ條件ニ變更ヲ生ジタルトキハ其旨直ニ届出ヅベシ

第十三條 本所附設ノ宿泊所ニ宿泊ヲ請ハント欲スル者ハ其旨申込ムベシ

第十四條 前條申込ニ對シ本所ハ境遇査察ノ上宿泊セシムルノ必要アリト認メタルトキニ限り之ヲ許可ス但晝間在宿ヲ許サズ

第十五條 宿泊料ハ一泊金六錢トス但入浴セシメザル場合ハ之ヲ金五錢トス

第十六條 日傭労働者ハ本規定第三條第四條第五條ニ依ラズシテ取扱フコトヲ得

### 三、事務取扱手續

第一條 求職ノ申込アル毎ニ掛員ハ求職票ニ記載ノ各調査事項ニ從ヒ申込ニ對シテ詳細ナル尋問ヲ行ヒ之ヲ該票ニ記入スベシ

第二條 掛員ハ求職者ニ對シ懇切丁寧ヲ旨トスベシ

第三條 求職者ニ對スル調査事項ニ就キ必要ト認ムルトキハ官公署前雇主隣保等ニ就キ調査ヲ行フベシ

第四條 求職票ハ就職取消未了ノ三種ニ區別シ且男女別及職業別ニ依リテ之ヲ分類整理スベシ

第五條 男票及ヒ女票ハ用紙ノ色彩ニ依リテ之ヲ別異ス

第六條 使用人需要者ヨリ需要ノ申込ヲ受ケタルトキハ之ヲ使用人需要票ニ記載ノ事項ニ從ヒ適當ノ記入ヲ爲スベシ

第七條 使用人需要者ニ就キ其身元調査ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキハ適當ノ方法ニ依リ調査ヲ行フベシ

第八條 使用人需要票ハ雇入済取消未了ノ三種ニ區別シ分類整理スベシ

第九條 宿泊申込人ニ對シテハ相當調査ヲ行ヒタル上宿泊者心得ヲ遵守スルヲ條件トシテ之ヲ許可スベシ

第十條 紹介及宿泊ノ事項ハ翌月五日迄ニ養育院長ニ報告スベシ

第十一條 附設宿泊所ニ關スル執務ハ午後五時ヨリ翌日午前七時迄トス



四、求職者心得

- 一、求職ノ申込ヲ爲サント欲スルモノハ本所へ出頭シ掛員ニ其旨申出ツベシ
  - 一、申込時間ハ午前八時ヨリ午後三時迄トス
  - 一、申込人ハ本所ヨリ交付シタル求職登録證ヲ保存シ來所ノ際之ヲ携帯スベシ登録證ヲ遺失シタル時ハ其旨直ニ届出デ再交付ヲ受クベシ
  - 一、申込人職業ニ就キタルトキハ登録證ヲ返納スベシ
  - 一、申込人ハ掛員ノ質問ニ對シ誠實ニ應答ヲナスヲ要ス
  - 一、掛員ヨリ戸籍謄本履歴書又ハ其他必要ナル書類ノ提出ヲ求メタルトキハ遲滞ナク之ヲ差出スベシ
  - 一、申込人ハ靜肅ヲ旨トシ決シテ喧噪不穩ノ舉動アルベカラズ
  - 一、求職者心得ニ違犯スル者、罹病者、泥醉者及其他掛員ノ指示ニ從ハザル者ニ對シテハ求職ノ申込ヲ受ケズ
  - 一、以上各項ノ外申込人ハ總テ掛員ノ指示ニ從フベシ
- 五、宿泊者心得
- 一、宿泊ヲ請ハント欲スルモノハ本所掛員ニ其旨申込ムベシ

- 一、申込時間ハ午後五時ヨリ同八時迄トス
- 一、宿泊ハ一夜ニ限り滯留ヲ許サズ
- 一、宿泊料ハ金六錢トス宿泊人ハ宿泊ノ許可ヲ受ケタル際之レヲ納付スベシ但宿泊料ハ入浴セシメザル場合ハ之ヲ金五錢トス
- 一、宿泊ヲ許可シタル者ニハ宿泊券ヲ交付ス但翌朝退去ノ際之ヲ返納スベシ
- 一、宿泊者ハ就寢前可成入浴スベシ
- 一、宿泊者ハ所内ニ於テ飲酒ヲ爲スベカラズ
- 一、宿泊者ハ春、夏ハ午後十時迄、秋、冬ハ午後九時迄ニ必ず就寢スベシ
- 一、宿泊者ハ春、夏ハ午前五時迄、秋、冬ハ午前五時半迄ニ起床シ自己ノ使用シタル寢具、寢衣等ヲ整理シタル上午前六時半迄ニ必ず退去スベシ
- 一、宿泊者ハ掛員ノ質問ニ對シ誠實ニ應答ヲナスヲ要ス
- 一、宿泊者ハ靜肅ヲ旨トシ決シテ喧噪不穩ノ舉動アルベカラズ
- 一、宿泊者心得ニ違犯スル者、罹病者、泥醉者及其他掛員ノ指示ニ從ハザル者ニ對シテハ宿泊ヲ許サズ
- 一、以上各項ノ外宿泊者ハ總テ掛員ノ指示ニ從フベシ



六、兒童保護所事業要領

八

- 一、目的 職業紹介所ノ附帶事業ニシテ市内浮浪少年男女ヲ收容シ其惡化ヲ防ギ境遇ヲ改善セントスルニアリ
- 二、所在地 東京市小石川區大塚坂下町二百二番地東京市小石川職業紹介所内
- 三、收容定員 三十五人
- 四、收容期間 約拾五日以内ニ保護者ニ引渡シ又ハ奉公口ヲ求メテ退所セシム  
但特ニ必要アル場合ハ此ノ限リニアラズ
- 五、收容方法 警察官署ヲ經テ收容ス  
但特別ノ事情アルモノハ此ノ限リニアラズ
- 六、收容中ノ所遇
  - イ、身分、親許等ヲ調べ且ツ奉公口ヲ求ムルコト
  - ロ、毎日簡易ナル學科ヲ授クルコト
  - ハ、修身の訓戒ヲ行フコト
  - ニ、傷痍、疾病、死亡ノ場合ハ行路病者ニ準ジ警察官署又ハ區役所ニ托シ便宜ノ取扱ヲナスコト

一、保護種別

- イ、扶養義務者其他ニ引渡スベキ種類ノモノ
  - ロ、職業ヲ紹介シテ奉公ニ出スベキモノ
  - ハ、感化院ニ送致スベキモノ
  - ニ、感化院以外ノ救護場ニ引渡スベキモノ
- 一、收容者ノ引渡等
- イ、前條第一項該當者ハ扶養義務者其他ヲ本所ニ呼出シテ本人ヲ引渡ス  
但場合ニヨリ本所ヨリ送還スルコトアリ
  - ロ、前條第二項該當者ハ本所ニ於テ便宜職業紹介ヲ行ヒ就職セシム
  - ハ、前條第三項即チ感化院法第五條第一項該當者ニ對シテハ東京市長ニ於テ相當取扱ヲナシ又同第二項該當者ニ對シテハ親權者又ハ後見人ヨリ相當手續ヲナサシメタル上感化院ニ送致スルコト
  - ニ、前條第四項該當者ニ對シテハ警察官署又ハ區役所ニ於テ便宜ノ取扱ヲ受ケタル上救護場ニ引渡スコト
- 一、保護所ノ設備 過度ノ檢束ハ勿論不可ナルモ勉メテ逃走ヲ避クルノ設備ヲナス

九



一、保護費辨償 收容費及送還費等ハ凡テ引取人ニ於テ辨償セシム

但第七條(ハ)(ニ)二項該當者ヲ除ク

イ、收容者費 一日金貳拾錢

ロ、其他 實 費 以上

### 第四、經 費

金貳萬五千五百參拾六圓

內 譯

金貳千七百參拾六圓

金千五拾六圓

金千百五拾參圓

金百貳拾圓

金千參拾九圓

(大正八年度豫算)

事務員給  
雇員給  
炊夫小使給  
囑託醫手当  
慰勞並特別手当

金參百五拾圓

金八百五拾圓

金貳千百圓

金參百圓

金參百七拾圓

金貳千五百九拾貳圓

金貳拾八圓

金貳百八拾八圓

金壹萬壹千六百五拾四圓

金五百貳拾五圓

金參百七拾五圓

金貳萬四千七百參拾八圓五拾六錢

內 譯

金貳千八拾四圓九拾參錢

旅費並車馬賃  
備品費  
消耗品費  
通信費  
印刷費  
賄服費  
被服費  
瓦斯電氣料  
授產費  
雜費  
修繕費  
(大正八年度決算)

事務員給



金壹千貳百四拾壹圓參拾九錢  
 金九百七拾八圓九拾八錢  
 金百貳拾圓  
 金壹千參拾九圓  
 金參百四拾九圓拾參錢  
 金壹千四百四拾九圓四拾九錢  
 金貳千參百四拾七圓四拾八錢  
 金五百參圓貳拾錢  
 金貳百九拾八圓  
 金壹千六百八拾五圓七拾錢  
 金貳拾七圓四拾錢  
 金參百參圓參拾貳錢  
 金壹萬壹千六百五拾參圓九拾九錢  
 金五百參拾五圓拾九錢

雇員給  
 炊夫小使給  
 囑託醫手當  
 慰勞特別手當  
 旅費并車馬賃  
 備品費  
 消耗品費  
 印刷費  
 通信費  
 賄服費  
 被服費  
 瓦斯電氣料  
 授產費  
 雜費

一二

金四百貳拾壹圓參拾六錢  
 金四萬四千五百九拾九圓  
 金九千參百圓  
 金四千七百四拾五圓  
 金壹萬貳千六百四拾五圓  
 金壹萬五千參百貳圓  
 金壹千九百七圓  
 金七百圓

修繕費  
 給料  
 雜給  
 需用費  
 授產費  
 諸費  
 修繕費

(大正九年三月末日現在)

第五、財 產

金貳萬貳千五百五拾五圓六拾壹錢  
 內 譯  
 金參千四百五拾參圓八拾九錢  
 敷地(貳百四十坪)購入價格



金壹萬參千五百四拾四圓  
 金五千五百五拾七圓七拾貳錢

建物(貳百參拾壹坪 參合七勺五才) 建築價格  
 什器 購入 價格

第六、所 員 (大正九年三月末日現在)

- 主 幹(事務員) 壹 名
- 事務員及雇員 九 名
- 囑託 醫 員 貳 名
- 使 丁 四 名
- 炊 夫 貳 名

第二章 大正八年度事業概況

第一、庶務概要

大正八年四月、求職人員四百二十二名(内女二一)求人員八百七十二名(内女九四)就職人員二百三十三人(内女一〇)ニシテ之ヲ前年同月ニ比スルニ求人員數ニ於テ約二割ヲ減ジ求職、就職人員ニ於テ僅

少ノ増加ヲ見タリ

其他宿泊・保護兒童收容人員ニ於テハ大差ナカリシモ授産就業人員ニ於テハ約四割ノ増率ヲ示セリ之レ前年度後期以來引續キ大日本紡績株式會社、天野鐵工場陸軍千住製絨所及本市消毒所、日比谷公園等ニ使用人ヲ供給シタルニ因レリ  
 今各種ニツキ其成績割合ヲ比較表示セバ左ノ如シ

種 別	大 正 七 年 四 月	大 正 八 年 四 月
一、求職人員ニ對スル求人員ノ割合	二九、三	二〇、六
一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合	五、六	五、六
一、求人員ニ對スル就職人員ノ割合	一、九	二、六
一、紹介狀受付數ニ對スル就職數ノ割合	七、五	六、九
一、宿 泊 延 人 員	二、六七二	二、六七八
一、保 護 兒 童 收 容 人 員	四八八	六四八
一、授 産 就 業 延 人 員	七九四	一、二八八

大正八年五月、本月ニ於ケル各種成績ハ各月ト大差ナカリシモ求人員前月ニ比シ百三十五人ノ増加ヲ見タリ是レ需求兩者吸集策トシテ本月下旬廣告郵便二萬枚ヲ市内ニ配布シタルニ因レルカ



大正八年六月、求職人員四百七十八人(内女四〇)求人千二百八人(内女一四二)ニシテ之ヲ前月ニ比スルニ前者ニ於テ六十六人後者ニ於テ二百人ヲ増シ就職率モ遞加セリ

本所ハ大戰終熄ニ伴フ經濟界ノ不況ヨリ一般事業界ニ影響ヲ來シ失業者増加ニ對スル應急策トシテ前月下旬廣告郵便ヲ配布シ更ニ本月ニ於テ市内各警察署當局ノ援助ヲ求メ勞働者集散地域ニ存在セル各浴場ニ案内看板千二百枚ヲ掲示シ本所ノ趣旨所在并ニ利用方ヲ廣告シタリ其結果ハ如上ノ成績ヲ生ミシモノト思料ス

大正八年七月、本月ニ於ケル求職人員五百八十九人(内女三〇)求人千二百二十二(内女一一五)ニシテ各月ニ比シ特ニ前者ニ於テ著ルシキ増率ヲ示セルト宿泊人員又多數ヲ算セルヨリ觀テ前段述べシガ如ク一般事業界不況ノ影響ト認メ得ベキカ

大正八年八月、求職人員六百十八人(内女三六)求人千二百三十人(内女一四三)ニシテ各月ニ比シ其割合ヲ見ルニ前者ニ於テハ逐次増率ヲ示シ後者ニ於テハ低率ヲ示セリ  
今斯月ニ於ケル大正三年以降ノ兩者申込數ヲ示セバ左ノ如シ

種目	男女別		大正三年八月	大正四年同月	大正五年同月	大正六年同月	大正七年同月	大正八年同月
	男	女						
求職人員	五七七	一八七	三六二	四九三	五二七	四七五	三二五	三六二
求人	二〇〇	二〇〇	三三三	四〇七	四七五	四六九	一〇〇五	一〇八七
人員	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三

其他ニ於テハ各月ト大差ヲ見ザリシモ授産就業人員ニ於テ著シキ増加ヲ示シ從テ所得工賃又遞加スルノ好況ヲ見タリ

大正八年九月、本月ニ於ケル求職人員五百六十八人(内女三二)求人千百一十一人(内女一四六)ニシテ求人員ニ於テ著シキ減員ヲ見タリ

今各種ニツキ其割合ヲ示セバ左ノ如シ

- 一、求職人員ニ對スル求人ノ割合 一九、五強
- 一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合 六、七強
- 一、求人ノ割合ニ對スル就職人員ノ割合 三、四強
- 一、紹介狀交付數ニ對スル就職人員ノ割合 三、七強

大正八年十月、本月ニ於ケル求職人員六百十五人(内女二七)求人千五十二人(内女一〇四)ニシテ之ヲ前月ト比較スルニ前者ニ於テハ四十七人ヲ増シ後者ニ於テ五十七人ヲ減セリ

其他ニ於テハ各月ト大差ナカリシモ宿泊人員前月ニ比シ頗ル増加シ連夜満員ノ盛況ヲ現セリ

大正八年十一月、本月ニ於ケル成績ニヨリ求職人員ニ對スル求人ノ割合并ニ求職、求人、紹介狀交付數ニ對スル就職人員ノ割合ヲ示セバ左ノ如シ



一、求職人員ニ對スル求人ノ割合

二〇、八強

一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合

六、三強

一、求人員ニ對スル就職人員ノ割合

三、〇強

一、紹介狀交付數ニ對スル就職人員ノ割合

七、四強

大正八年十二月、本月ニ於ケル求職人員三百九十六人(内女一五)求人五百六十五人(内女七二)ニシテ之ヲ前月ニ比スルニ前者ニ於テ八十五人後者ニ於テ四百三十九人ヲ減シ更ニ前年同月ニ比スルニ前者ニ於テ三十五人ヲ増シ後者ニ於テ二百六十一人ヲ減ゼリ

例年斯月ハ求人者側ニ於テハ仕事ノ打切并ニ年末多忙ナル際雇人ノ異動ヲ好マザルト一面被雇人ハ迎年ノ無事安全ヲ期スル爲メ移動ヲ避クルノ結果ハ其申込人員兩者共各月ニ比シ減少スルヲ常トナスモ特ニ本年ハ著シク求人數ノ減員ヲ見タリ

大正九年一月、本月ニ於ケル求職人員五百十人(内女一三)求人千二百二十一人(内女七八)ニシテ前月ニ比シ前者ニ於テ百十四人後者ニ於テ五百五十七人ヲ増加セリ何レモ越年後ノ移動ニ因ル結果ト見ルヲ得ベキカ面シテ本所ハ本年初頭ノ試ミトシテ前年四月以降十二月末ニ至ル八ヶ月間ニ於ケル就職者二千九百八十一人ニツキ勤績ノ有無、勤務振り、支給賃金并ニ本所紹介上心付ノ點ヲ往復

端書ニテ各求人者ニ問ヒ合セタル回答成績ハ意外ノ好果ヲ示シ病氣其他ノ事故ニ依リ勤績不可能トナリシ者以外ノ大部ハ今尙勤務中ニシテ持逃ゲ其他不都合ノ行爲アリシモノ極メテ少數ナリシハ快心ノ至リニ堪ヘズ更ニ其就職業務ヲ見ルニ職工、配達、雜役等大部ヲ占メ店員、使丁、給仕、事務員、女中等亦少ナカラズ又勞銀ニ於テモ職工ハ日額九十錢以上一圓八十錢配達、雜役夫ハ九十錢ヨリ二圓五十錢前後ニシテ各自相當ノ支給ヲ受ケツ、アリ更ニ紹介取扱上求人者ヨリノ回答ヲ綜合スルニ多クハ身元引受人若クハ本人ノ身元ヲ證明スベキ何等ノ方法ナキヲ遺憾トスル旨ノ申出ニ接セリ之ニ對シ本所ハ特ニ身元調査依頼書用紙ヲ作製シ紹介後速時ニ各原籍地役場ニ照會シテ回答アリ次第求人者ニ廻送スル事トセリ

大正九年二月、本月ハ一般事業界ノ沈靜期ニ屬シ需求共ニ各月ニ比シ減少スルヲ常トナスモ特ニ求人數ニ於テ減員ヲ見タリ

大正九年三月、本月ニ於ケル求職申込人員四百四十七人(内女一一)求人九百四十八人(内女五七)ニシテ前月ニ比シ前者ニ於テ大差ヲ見ザリシモ後者ニ於テハ約三割方ノ増率ヲ見タリ今其割合ヲ見レバ左ノ如シ

一、求職人員ニ對スル求人ノ割合

二一、一強



一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合  
 一、求人員ニ對スル就職人員ノ割合  
 一、紹介狀交付數ニ對スル就職人員ノ割合  
 其他ニ於テハ宿泊人員前月ニ比シ百二十八人保護兒童收容人員七名ヲ増シ授産就業延人員百四十八人ヲ減ゼリ

左ニ大正八年度中ニ於ケル月別事務取扱數并ニ開設以來大正九年三月ニ至ル月別成績ヲ表示ス  
 一、月別事務取扱數(三ヶ所合計) (大正八年度)

種別	求職人員		求人員		紹介狀交付人員		就職人員		宿泊人員		保護兒童收容人員		授産就業人員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大正八年四月	401	333	778	94	377	27	233	100	262	37	64	4	82	101
五月	393	200	891	177	307	18	242	8	269	37	267	4	95	111
六月	388	200	1,066	142	322	28	242	23	290	37	256	4	100	114
七月	359	300	1,107	155	492	27	272	23	260	37	257	4	100	114
八月	352	36	1,087	143	592	27	292	23	260	37	257	4	100	114
九月	336	33	965	146	400	27	257	23	260	37	257	4	100	114
計	3,577	2,721	10,915	1,419	4,780	230	3,753	163	4,608	335	3,054	20	4,988	5,121

二、開設當初ヨリ大正八年度末ニ至ル月別成績表

職求	種別	年別		月別														
		男	女	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	大正九年一月	計	
大正四年	男	823	133	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
大正三年	男	558	133	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
大正二年	男	409	133	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
明治四十四年	男	306	133	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
明治四十五年	男	409	133	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
計	男	2,505	539	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915	10,915



種別	職 人 員												種別			
	計	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十五年	明治四十四年				
明治四十四年	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女
年	計	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月一	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月二	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月三	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月四	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月五	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月六	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月七	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月八	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月九	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月十	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月十一	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
月十二	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
計	男	1,908	1,334	2,055	1,296	2,187	1,417	2,299	1,584	2,333	1,615	2,352	1,646	2,387	1,677	
計	女	1,334	1,296	1,417	1,584	1,615	1,646	1,677	1,708	1,739	1,770	1,801	1,832	1,863	1,894	
計	計	3,242	2,630	3,472	2,880	3,804	3,001	4,011	3,162	4,072	3,230	4,104	3,482	4,250	3,571	

種別	職 人 員												種別			
	計	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年	明治四十五年	明治四十四年				
明治四十四年	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女
年	計	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月一	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月二	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月三	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月四	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月五	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月六	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月七	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月八	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月九	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月十	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月十一	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
月十二	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
計	男	1,043	784	1,296	987	1,540	1,171	1,984	1,495	2,308	1,719	2,332	1,740	2,353	1,764	
計	女	784	987	1,171	1,495	1,719	1,984	2,308	2,332	2,353	2,374	2,395	2,416	2,437	2,458	
計	計	1,827	1,771	2,467	2,482	3,259	3,155	4,292	3,479	4,662	4,093	4,725	4,156	4,790	4,222	



























ノ職業ニ就職スルノ餘儀ナキニ至リシハ又止ムヲ得ザル事ナリトス左ニ各所別ニ希望業務ト就職業務トノ關係ヲ對照セン

希望業務ト就職業務

希望業務	就職業務		紹介所別
	男	女	
職工	六三	九	職工
技術手	四	一	技術手
徒弟	三	一	徒弟
小僧	三	一	小僧
店員	三〇	二	店員
配達員	二	一	配達員
行商	二	一	行商
集金員	二	一	集金員
外勤員	一	一	外勤員
事務員	一六	一	事務員
計	一五〇	八	計

希望業務ト就職業務

希望業務	就職業務		紹介所別
	男	女	
寫字	九	一	寫字
校正	七	一	校正
記者	二	一	記者
書生	一	一	書生
給仕	一	一	給仕
使丁	一	一	使丁
番人	一	一	番人
教員	一	一	教員
保母	一	一	保母
藥局生	一	一	藥局生
看護人	一	一	看護人
労働	一	一	労働
兒守	一	一	兒守
女中	一	一	女中
計	一〇〇	一	計



希望業務ト就職業務 (大正八年度)

計	女中		兒守		労働		看護人		薬局生		保母		教員		番人		使丁		給仕		書生	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
計	10	10	1	1	10	10	10	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

計	記者		校正		寫字		事務員		外勤員		集金		行商		配達		店員		小僧		徒弟		技術手		職工		希望業務		就職業務		紹介所別
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	















計	五十歳未満		六十歳未満		六十歳以上	
	男	女	男	女	男	女
計	一、五三六	一、一八六	一、四一四	一、一四一	一、五三六	一、一八六
芝	二、七〇七	一、九四一	二、四一四	一、七〇七	二、七〇七	一、九四一
本所	一、五三六	一、一八六	一、四一四	一、一四一	一、五三六	一、一八六
市外	一、五三六	一、一八六	一、四一四	一、一四一	一、五三六	一、一八六
合計	一、五三六	一、一八六	一、四一四	一、一四一	一、五三六	一、一八六

### 第四、求人者

本年度ニ於ケル使用人需要申込人員男一万九百十五人女千四百四十四人合計壹万二千五十九人ニシテ一ヶ月平均壹千人餘ニ上レリ

之ヲ一般事業界ノ好況時ニ於ケル前年度ト比較シテ女子ハ少数ヲ減セシモ男子ニ於テ却テ申込人員ノ増加ヲ見タルハ妙ト云フベシ

是レ大戦終熄ニ伴フ事業界ノ不振ニヨリ求人者ノ減退スルノ傾向アリシヨリ本所ハ事業遂行上時々廣告郵便ヲ配布スルハ勿論或ハ浴場ニ案内看板ヲ掲示シ或ハ所員ヲ督シテ其開拓ニ努力シタル結果ナリトス左ニ其申込職業別、支給賃金等ニ就キ述ベントス

#### 一、需要業務ト求人者住所

求人者ヨリノ申込業務ハ左表ニ示スガ如ク男子ニアリテハ職工最多數ニシテ全數ノ四割餘ヲ占メ勞動、

配達之ニ亞キ店員、小僧、徒弟、使丁等又少ナカラズ女子ニアリテハ其八割餘ハ女中兒守ニシテ女子職工ノ需要例年ニ比シ又多數ヲ算セリ而シテ其住所ヲ市内ト市外ニ市内ヲ更ニ行政区ニ分チ其申込割分ヲ見ルニ十五區中最多數ナリシハ淺草區ニシテ本所、芝、神田ノ各區之ニ次キ赤坂區最モ少數ナリ尙之ヲ職業別ニヨリ見ルニ職工、勞働ノ申込ハ本所、芝、淺草ノ三區ヲ最トシ店員、配達ニ於テハ神田、京橋日本橋區多ク之ニ反シ事務員、使丁ノ如キハ麴町區最多數ヲ算セリ次ニ市外ヨリノ申込數ハ全數ニ對シ約二割四分餘ニシテ職工、勞働ノ申込大部ヲ占メタリ

需要業務ト求人者住所 (三ヶ所合計) (大正八年度)

業務別	芝		本所		市外		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
店員	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
小僧	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
徒弟	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
技術手	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
職工	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
計	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
市外	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六
合計	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六	一、五三六	一、一八六







配	達	八圓乃至三十圓	一圓五十錢乃至四圓
行	商	步合	
集	金	步合	
外	勤		
事	務	十圓乃至二十五圓	
寫	字	八圓乃至十五圓	一枚五厘乃至二錢
校	正		
記	者		三十圓乃至五十圓
書	生	五圓乃至十圓	
給	仕	五圓乃至十五圓	五十錢乃至一圓
使	丁	五圓乃至十五圓	八十錢乃至一圓三十錢
番	人	五圓乃至二十圓	
教	員		
保	姆	十圓乃至二十圓	
藥	生	五圓乃至十圓	
看	護	八圓乃至十三圓	

勞	勤	十五圓乃至三十圓	一圓二十錢乃至五圓
兒	守	二圓乃至五圓	
女	中	五圓乃至十五圓	

第五、宿泊者

本年度ニ於ケル宿泊者總人員ハ男三万二千八人女三百三十五人合計三万五千四百三十三人ニシテ前年度ニ比シ八百九十三人ノ増加ヲ見タリ而シテ是等宿泊者ハ所謂自由勞働者ニシテ一般求職者ニ比シ在京年數長ク年齢又長シタル者多ク其大部ハ都市生活ニ憧憬シテ上京シタリシモ事、志ト違ヒ轉々漂浪ノ身トナリシ孤獨可憐ノ者ニシテ實ニ彼等ノ所遇法ハ社會政策上考慮ヲ要スベキモノナリトス

宿泊者職業ト年齢 (大正八年度)

淺	紹介所別		職	行	商	外	勤	無	職	計
	年	齡								
	二十	三十								
	歲	歲								
	未	未								
	滿	滿								
	男	女								
	別	別								
	男	女								
	一、四七	一、八四								
	六、四四	一、九〇								
	一、五三	四、五八								
	五、七	九、九〇								







セシガ其效果良好ニシテ益々浮浪兒童一時保護機關ノ必要ナルヲ認メタルニヨリ大正二年四月ヨリ當職  
業紹介所ノ附帶事業トシテ兒童保護部ヲ設置シ以テ彼等ノ境遇ヲ改善シ日時ニ墮落ヲ防止スルノ目的ニ  
備ヘタリ中心トシテ保護部ヲ設ケテ又ハ保護部ニシテモ保護部ニシテモ保護部ニシテモ保護部ニシテモ  
本所ハ始メ小石川職業紹介所内ニ併置セラレ大正四年七月事務ノ都合上淺草職業紹介所内ニ移セシガ大  
正六年度以降東京府ヨリ金壹千圓ノ補助ヲ受クルニ及ビ收容者一日ノ定員拾名ヲ貳拾五名ニ増加セル結  
果設備擴張ノ必要ヲ生ジタルニヨリ大正六年七月再ビ小石川職業紹介所ニ移轉セリ而シテ大正七年度ヨ  
リハ更ニ補助金額ヲ金壹千六百圓ニ増加セラレ郡部兒童ヲモ收容スルコト、ナリ一日ノ定員ヲ參拾五名  
ニ増加セリ

大正二年四月開設以來大正九年三月ニ至ル收容人員貳千八百四拾名(男貳千七百八拾名女六拾名)ニシテ  
内本年度收容人員男四百九拾參名女貳名ナリ  
而シテ右六ケ年間ニ於ケル兒童保護ノ成績左ノ如シ

一、自大正二年度 至同八年度 七ケ年ニ於ケル兒童保護成績表

年度別	性別	
	男	女
大正二年度	同	同
三年度	同	同
四年度	同	同
五年度	同	同
六年度	同	同
七年度	同	同
八年度	同	同
合計	1,014	370

新入者ニ對スル割合

新入	職業紹介		感化院送致	救護場送致	扶養義務者又ハ元 雇主へ引渡	逃走
	男	女				
24	93	1	1	1	3	6
383	113	11	11	11	11	11
368	166	8	8	8	8	8
347	175	1	1	1	1	1
463	170	4	4	4	4	4
493	140	9	9	9	9	9
493	167	7	7	7	7	7
2,700	1,014	28	28	28	28	28
255	370	8	8	8	8	8

二、月別收容人員

本年度ニ於ケル兒童收容人員ハ總數四百九拾五名ニシテ昨年度ニ比シ大差ナシ之レヲ一ケ月ニ平均スレ  
バ四拾壹名ニシテ月別ヨリ見レバ四月ノ六十四名ヲ最多數トシ十二月ノ貳十七名ヲ最少數トス

保護兒童月別異動表 (大正八年度)

異動別	前月越		計	扶養者其 他ニ引渡	職業紹介	感化院 送致	救護場 送致	逃走	計	月末殘 留人員
	人	客人員								
大正八年四月	二	六	七	三	二	一	一	三	六	一
五月	一	四	五	三	二	一	一	二	四	七
六月	七	五	六	三	二	一	一	五	四	七



七	八	九	十	十	十	大正九年	二	三	合
月	月	月	月	月	月	一月	月	月	計
一七	一九	一六	一九	九	八	六	五	二	一四二
四〇	五〇	四七	四二	三六	三七	二六	二六	三四	四九五
五七	六〇	五九	五七	五七	五五	五四	五三	四五	六六五
二二	二四	二四	二四	二六	二六	二九	二九	三三	一九七
二七	三二	三六	三九	四一	四二	四三	四三	四六	二〇八
一	三	五	八	九	三	五	四	六	七八
二	一	一	一	一	一	一	一	一	五
五	四	八	六	一	三	二	一	四	四四
三八	三五	四四	五二	五九	六八	七九	八八	一〇〇	四九一
一九	一六	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一四五

三、保護兒童ノ出生地別  
 保護兒童ノ出生地ヲ各府縣ニ區別スレバ左表ノ如ク東京市内ノ四拾貳名ヲ最多シ福島縣貳拾參名長野茨城縣ノ貳拾名之レニ次グ而シテ東京府下出生者市内郡部合セテ五十二名ニシテ約全數ノ一割一分ヲ占メ約八割九分ハ他府縣ノ出生者ナリ

保護兒童ノ出生地別 (大正八年度)

七	八	九	十	十	十	大正九年	二	三	合
月	月	月	月	月	月	一月	月	月	計
一七	一九	一六	一九	九	八	六	五	二	一四二
四〇	五〇	四七	四二	三六	三七	二六	二六	三四	四九五
五七	六〇	五九	五七	五七	五五	五四	五三	四五	六六五
二二	二四	二四	二四	二六	二六	二九	二九	三三	一九七
二七	三二	三六	三九	四一	四二	四三	四三	四六	二〇八
一	三	五	八	九	三	五	四	六	七八
二	一	一	一	一	一	一	一	一	五
五	四	八	六	一	三	二	一	四	四四
三八	三五	四四	五二	五九	六八	七九	八八	一〇〇	四九一
一九	一六	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一四五

四、保護兒童送致者ト悪化ノ狀況







淺草職業紹介所 直接收容	芝 愛宕警察署	同 高輪警察署	同 三田警察署	品川警察署	澁谷警察署	板橋警察署	千住警察署	南千住警察署	大島町役場	芝職業紹介所 直接收容	小石川職業紹介所 直接收容	合計
二	三					一	六			五	三	一八〇
一	二	一	一	一	二	二				五	三	一〇一
三	五			四	二	二				三	二	二〇一
												三三
												四九

五、保護兒童收容當時ノ年齢ト教育程度

今兒童ノ年齢別ヲ見ルニ拾七歳ノモノ最モ多クシテ七拾八名即チ全數ノ一割六分強ニシテ拾六歳六拾八名拾五歳六十三名拾八歳六拾貳名拾四歳五十八名拾參歳五拾名ノ順位ナリ而シテ全數ノ二割八分ハ義務教育終了者ニシテ約六割八分ハ義務教育未了ノ者ナリ是等ノ多クハ家計困難ノ爲メ或ハ通學ヲ厭ヒ又ハ性行不良ノ爲中途退學セルモノニシテ未就學者ハ五十一名ニシテ全數ノ一割強ニ當レルガ之等無教育者ニ比較的不良行爲ヲナスモノ、多キハ注意ヲ要スベキモノナリ

保護兒童收容當時ノ年齢ト教育程度

年齢	九年	拾	拾壹	拾貳	拾參	拾四	拾五	拾六	拾七	拾八	拾九	合計
未就學	一	三	一〇	九	八	六	三	一	二	三	四	五〇
尋常科	一	一	三	一	七	二	四	四	二	二	二	二六
同第一學年												
同第二學年												
同第三學年												
同第四學年												
同第五學年												
同第六學年												
高等科												
同第一學年												
同第二學年												
卒業以上												
計	二	二	三	三	三	五	四	六	六	六	八	四九

六、保護兒童浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間

兒童ノ當所ニ收容セラル、ニ至ルノ原因ハ極メテ複雑ニシテ種々ナル事情アリト雖ヘドモ内苦學又ハ奉



公ノ目的ヲ以テ出京セルモ當地ニ知人等ナキ爲メ將ニ浮浪セントスルモノ二百十九名盜竊ノ爲メ家人又ハ雇先ノ金品ヲ拐帶家出セルモノ百二十五名性質怠惰ノ爲メ學業ヲ怠リ就職ヲ厭ヒ浮浪ニ陥ルモノ八十名救護場逃亡十八名故郷思慕出奔五名遺棄二十四名其他二十一名ノ割ニシテ在京期間ハ十日以内ノモノ三百三名ニシテ當地出生者四十二名ヲ除ク全數四百五十三名ニ對シ約六割六分ナリ

浮浪日數ニ於テハ家出後直チニ收容セラレ浮浪ノ形跡ナキモノト認ムル者百十二名ニシテ全數ノ二割三分一日以上十日以内ノモノ二百四十七名ニシテ全數ノ二割六分ナリ

保護兒童浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間 (大正八年度)

原因	在京				浮浪				
	十日以上 十日以内	十日以上 一月以内	一月以上 三月以内	三月以上 一年以内	無シ	十日以上 十日以内	十日以上 一月以内	一月以上 三月以内	三月以上 一年以内
遺棄	二	七	二	一	一	二	三	三	二
故郷思慕出奔	三	二	三	一	一	四	一	一	一
救護場逃亡	八	五	三	一	一	七	一	一	一
怠惰	三	二〇	七	一	四	七	五	一	一
盜竊	七〇	八	六	九	二〇	二九	一四	八	六
苦學又ハ奉公ノ目的ニテ家出	一六	二九	一五	二	五七	二四	七	一	一
計	一一一	一〇六	五二	一三	一一一	一〇三	五三	一六	一三
不詳									
計	一一一	一〇六	五二	一三	一一一	一〇三	五三	一六	一三

其他	二	三	一	一	八	二	一		
合計	三三	七四	三四	二六	一一三	二四七	八二	三〇	二六

七、保護兒童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因

兒童ト扶養義務者トノ關係ヲ見ルニ實父母ノ手ニ養育セラレタルモノ百九十七名ニシテ全數ノ約四割ヲ占メ實父ノ手ニ養育セラレタル者八十九名實母ノ手ニ養育セラレタル者百十名ヲ算ス其他ノ者百九十九名ハ何レモ家庭ニ多少ノ缺陷アルモノニシテ扶養義務者ガ兒童育成上ノ處置ヲ誤リ如斯浮浪ニ陥ラシムルモノ少ナカラズ從テ身體及ヒ精神上何等カノ缺點アルモノ多ク且ツ是等兒童ニ惡化セルモノ、多キハ憂フベキコトナリ

保護兒童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因 (大正八年度)

扶養義務者關係	苦學又ハ奉公ノ目的ニテ家出		盜竊	怠惰	情	救護場逃亡	故郷思慕出奔	遺棄	其他	計
	實父母ノ手ニヨリ	實父母ノ手ニヨリ								
實父母ノ手ニヨリ	三三	三	三	二	二	五	三	三	二	一九七
實父繼母ノ手ニヨリ	一〇	六	三	九	四	一	一	六	三	三三
繼父實母ノ手ニヨリ	四	三	三	四	四	一	一	四	四	一六
實父ノ手ニヨリ	二七	三	三	二	二	四	一	九	三	八九







ナキ者ハ正規ノ手續ヲ經テ感化院ニ入院セシメ病氣及幼弱者ハ養育院其他ノ救護場ニ引渡セリ而シテ逃  
 亡者ニ就テハ勉メテ防止セントスルモ收容兒童ニ對シテハ温情ヲ以テ接シ過度ノ檢束等ヲ避ケ居レルヲ  
 以テ全然防止スルヲ得ザルハ遺憾ナレドモ前年度ニ比シテ十六名ヲ減シ其率逐年減少シツ、アリ尙ホ保護  
 期間比較の永キニ亘ルモノアレドモ是等ハ本人ノ供述ニ基キ身元調査ナスニ當リ本籍地其ノ他照會ニ時  
 日ヲ要セルモノナリ

保護終了事由ト收容期間

別務業職就	收容期間			計
	拾日以内	拾日以上 拾日以内上	一ヶ月以上 拾日以内上	
職工	三	10	六	一九
徒弟	九	三	七	一九
小僧	三	九	四	一六
店員	六	三	〇	九
配達員	三	二	〇	五
給仕	一	〇	〇	一
書生	三	〇	〇	三
農業	三	一	〇	四
其他	四	五	二	一一

一〇、保護費並ニ辨償金額

計	保護費		辨償金額		計
	總人員	一人平均	人員費	金額	
扶養義務者其他ニ引渡	一九七	一〇・九	五五	一四	一九七
感化院ニ送致	五五	二・六	一一	二	五七
救護場ニ引渡	一	一	三	三	五
逃亡	三三	八	四	四	四四
合計	三三八	一〇・一	一〇一	二二	四九一

收容期間	保護終了事由	總人員	保護費總額	一人平均	内			
					辨償人員費	辨償金額	辨償人員未	辨償金額未
職業紹介	職業紹介	一九七	三六、〇〇〇	一〇・九	五五	一四、〇〇〇	一一	三三、〇〇〇
扶養義務者其他ニ引渡	扶養義務者其他ニ引渡	一九七	二六、〇〇〇	七・六	三六	一五、〇〇〇	五九	一〇、〇〇〇
感化院送致	感化院送致	七六	一七、〇〇〇	二・六	九	六、〇〇〇	六	一〇、〇〇〇
救護場引渡	救護場引渡	五	一〇、〇〇〇	二・〇	一	三、〇〇〇	一	一〇、〇〇〇
逃亡	逃亡	三三	八、〇〇〇	一〇・一	二	二、〇〇〇	三	八、〇〇〇



殘留	一五	三三八〇〇	一一三	一	一、二〇〇	一四	二、八三三
合計	五〇六	一、〇〇五、六〇〇	九九	一〇六	三、三三三、〇〇〇	三〇〇	七、二六〇〇

備考 保護費ハ一日金貳拾錢トス

### 第七、授産

求職者並ニ宿泊者中種々ノ事情ヲ有スル者ニシテ差當リ紹介先若クハ行先ナキ者ニシテ其日ノ糊口ニ窮スル者ノ應急的救済策トシテ大正二年以降當授産部ヲ併置シ爾來銳意其種目ノ撰擇工賃ノ收入増加ヲ計リ累年其成績向上スルノ傾向アルハ喜バシキ事實ナリトス特ニ本年度ハ前年度ニ比シ其就業延人員ニ於テ其所得工賃ニ於テ著シキ増率ヲ見タリ

#### 一、月別授産成績 (大正八年度)

大正八年 月別	種目 紙管製造	就業人員		就業延人員		就業 日數	一日平均就業人員		一日一人平均所得		
		男	女	男	女		男	女	男	女	
五月	同	九五	一七	一、〇一五、八	二八七	三	三三	九三	四、一三	一、七九	二、八三
六月	同	一〇〇	二四	一、一七一、二	一八二	三〇	三九	六〇	四、五〇	一、七〇	二、〇九
七月	同	八七	二四	一、五五五、二	二二五	三三	四九五	六九	五、六四	一、七〇	二、二七
八月	同	一〇五	二四	一、六四八、八	二三五	三三	五四六	七五	六、二一	一、八〇	二、三三
九月	同	一二五	二二	一、五五四、六	一九八	三〇	五二八	六六	五、六四	一、八四	二、四六
十月	同	九八	二二	一、七〇一、八	二二二	三三	三四五	六八	四、一三	一、九六	二、三三
十一月	同	二七	二四	五、六、四	二七五	三〇	一八二	九一	二、七二	一、七五	二、六二
十二月	同	三二	二四	六、六、三	三二五	三三	二二九	一〇一	三、三〇	一、八八	二、九三
大正九年	同	二七	三三	五、八、〇	三三四	三三	二二二	七三	一、九四	一、八〇	二、七四
二月	同	二五	三三	三、六、七	三三五	三九	二二三	八一	二、〇四	一、八四	二、六〇
三月	同	三三	三〇	二、八、七	三三五	三三	七〇	七三	一、四三	一、九〇	二、八九
計		八五	二七	一、〇七三	二、八〇九	三六四	三六	六八	四、二八	一、七六	二、九四

### 第八、慰安及訓戒

本所取扱者ノ中ニハ不安ナル生活ニ困憊シテ失意若クハ自暴自棄ニ陥ラントスル社會ノ敗殘者モアリ強固ナル意志ト的確ナル定見ナク唯ダ一時ノ空想ニ驅ラレ一躍幸運ヲ獲得セントスル青年若クハ全然實社



會ノ状態ニ暗キ無謀者等アルヲ以テ此等ニ對シ本所ハ各個人ノ境遇ト性格ニ鑑ミ其前途ヲ慮リテ或ハ歸國ヲ勸メ或ハ自覺奮勵ヲ促ス等精神的ノ慰安獎勵ト訓戒トヲ與ヘ彼等ヲ可及的良好ナル方向ニ導カンコトニ努ムルト同時ニ彼等ニ通有ナル一種ノ危險思想ヲ緩和シ以テ社會ノ秩序安寧ヲ計リツ、アリ尙ホ是等ノ目的ヲ達スル爲メ獨リ如上ノ方法ノミナラズ隨時篤志家ヲ聘シ宿泊者及保護兒童ニ有益ナル講話ヲ請ヒ只管其慰藉善導ニ努メツ、アリ

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

附  
錄



職業紹介所處務規程

(大正九年十月五日施行)

- 第一條 職業ノ紹介ヲナス爲メ本市ニ中央職業紹介所一箇所及職業紹介所數箇所ヲ置ク
- 第二條 中央職業紹介所ハ他ノ職業紹介所ノ事務ノ連絡及統一ヲ圖リ需給ノ調節ヲ爲スモノトス
- 第三條 中央職業紹介所ニ所長一名其他ノ職業紹介所ニ主任一名及其他必要ノ吏員ヲ置ク
- 第四條 所長ハ局員中ヨリ局長之ヲ命シ各紹介所主任ハ課員中ヨリ勞働課長之ヲ命ス所長ハ勞働課長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌理ス
- 第五條 所長又ニ主任事故アルトキハ其所内ノ次席者其ノ職務ヲ代理ス
- 第六條 所長ハ局長ノ承認ヲ經テ事務執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得
- 第六條 職業紹介規程 (大正九年十月十三日 市告示第一六四號)
- 第一條 職業紹介所ハ東京市内ニ在ル人ニ職業ノ紹介ヲ爲ス所トス
- 第二條 職業ノ紹介ヲ受ケントスル人ハ本人出頭ノ上申込マルヘシ但シ求人者ハ書面又ハ電話ニテ申込マル、コトヲ得
- 第三條 求職者本紹介所ノ紹介ニ依ラスシテ就職シタル時又ハ求職申込條件ニ變更ヲ生シタル時ハ其旨



直ニ届出テラルヘシ

第四條 求人者本紹介所ノ紹介ニ依ラスシテ使用人ヲ雇入レ又ハ雇傭申込條件ニ變更ヲ生シタル時ハ其旨直ニ届出ラルヘシ

第五條 求職者ハ別ニ定ムル求職者心得ヲ遵守セラルヘシ若シ之ニ違背シタル時ハ紹介ヲ拒絕ス

第六條 本紹介所ハ求職者ノ身元保証ヲ爲サス

第七條 特殊ノ事情アル人ニ對シテハ本規程第二條ニ依ラスシテ之レカ紹介ヲナスコトアルヘシ

#### 中央職業紹介所事務取扱手續

(大正九年十月二十五日  
局長判決勞發第四號)

第一條 中央職業紹介所ハ職業需給ノ調節ヲ圓滑ナラシメンカ爲常ニ求人求職ノ狀況ヲ調査スヘシ

第二條 各職業紹介所ヨリ求職者又ハ求人者ニ關スル調査ノ請求ヲ受ケタルトキハ之カ調査ヲ爲シ其顛末ヲ通知スヘシ

中央職業紹介所ニ於テ求人者ニ關スル調査ヲ必要ト認メタルトキ亦同シ

第三條 各職業紹介所ヨリ紹介困難ナル旨ノ申出ヲ受ケタルトキハ其事情ヲ調査シ相當ノ方法ヲ講スヘシ

第四條 各職業紹介所ヨリ求人票ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ求人者一覽表ヲ作製シ各職業紹介所ニ配付スヘシ

第五條 求人票ハ雇入済、取消及未了ノ三種ニ分類シテ之ヲ整理ス

第六條 求人者ヨリ雇入條件變更ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ求人票ニ記入スルト同時ニ其旨ヲ各職業紹介所ニ通知スヘシ

第七條 各職業紹介所ヨリ求人日計表及求職日計表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ整理スヘシ

第八條 職業紹介ニ關スル事項ハ毎月各職業紹介所ヨリ之ヲ徴シ翌月五日迄ニ局長ニ報告スヘシ

#### 職業紹介所事務取扱手續

(大正九年十月二十五日  
局長判決勞發第四號)

第一條 掛員ハ求職又ハ求人ノ申込ヲ受ケル毎ニ求職票又ハ求人票ノ各項ニ從ヒ之ヲ該票ニ記入スヘシ

第二條 紹介ニ因ル就職ノ狀況ヲ調査シ之ヲ求職票并ニ求人票ニ記入スルト同時ニ其旨ヲ中央職業紹介所ニ報告スヘシ

第三條 紹介困難ナルモノハ之ヲ中央職業紹介所ニ申出ツヘシ

第四條 求職票ハ就職、取消及未了ノ三種ニ區別シ且男女別及職業別ニヨリ之ヲ分類整理スヘシ



但男票及女票ハ用紙ノ色彩ニヨリ之ヲ區別スヘシ

第五條 求人票ハ雇入済、取消及未了ノ三種ニ分類整理スルト同時ニ之ヲ中央職業紹介所ニ報告スヘシ

第六條 求人者ヨリ雇入條件變更ノ通知ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ求人票ニ記入スルト同時ニ之ヲ中央職業紹介所ニ報告スヘシ

第七條 中央職業紹介所ヨリ雇入條件變更ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ求人票ニ記入スヘシ

第八條 求職日計表、求人日計表及求人票ハ各二通ヲ作製シ其一通ヲ中央職業紹介所ニ送付スヘシ

### 求職者心得

(大正九年十月二十五日 局長判決第 第三號)

- 一、求職ノ申込ヲ爲サントスル人ハ紹介所へ出頭シ掛員ニ其旨ヲ申出ラルヘシ
- 一、申込時間ハ午前八時ヨリ午後三時迄トス但特別ノ事情アル人ハ此限ニアラス
- 一、申込人ハ掛員ノ質問ニ對シ誠實ニ應答セラルヘシ
- 一、掛員ヨリ戸籍謄本、履歷書其他必要ナル書類ノ提出ヲ求メタルトキハ遅滞ナク之ヲ差出サルヘシ
- 一、求職者心得ニ違背シ又ハ罹病、泥醉其他掛員ノ指示ニ從ハサル人ニ對シテハ求職ノ申込ヲ拒絕ス
- 一、以上各項ノ外申込人ハ總テ掛員ノ指示ニ從ハルヘシ

左記の職業紹介所は東京市が公益の爲め直接に經營する事業でありまして適當の使用人を雇ひたい方と職業に就きたい方との間に立ち一切無手数料で御世話する所でありまして何方でも遠慮なく御申出下さい

一、使用人を雇入れたい方は左の四ヶ所の紹介所中へ御出頭になるか又は電話か書面で御申込になれば市内は勿論市外の方にも無料で御世話をいたします

一、職を求めたい方は左の四ヶ所の紹介所中へ自身で御出頭下さい市内に居住する方ならば何方でも無料で業務を御世話いたします

一、宿泊に困る方は左の紹介所の中で浅草と芝紹介所に於て一晚金五錢で泊めますから午後五時から同八時迄に御出頭下さい

職業紹介の申込時間は日曜祭日に拘らず午前八時より午後三時迄

東京市中央職業紹介所	(電話丸ノ内八六番)
淺草職業紹介所	麴町區有樂町二丁目殿治橋内 (電話淺草七五〇番)
小石川職業紹介所	淺草區玉姬町一、二、六 (電話小石川二七七番)
芝職業紹介所	小石川區大塚坂下町二〇二 (電話芝一一六〇番)
同	芝區新堀町三〇

## 東京市役所







終